

東京 11 発走 15:25 第25回東京スポーツ杯2歳ステークス(III) (2歳・オープン・国際指定・馬齢)

Table with columns for race number (1-10), horse name, jockey, trainer, and various performance statistics.

本紙の見解 資質一流ダノンザキッド

前走のダノンザキッドは、ラスト1ハロンから馬なりで流す大楽勝。一杯に追って3馬身差の2着馬は、次走で8馬身差のレコード勝ち。さらに2馬身差の3着馬も次走で勝ち上がっており、レースレベルも高かった。東京千八に変わっても、能力減はいささないとみて中心視。レース・センスあるジュンブルースカイが相手。(首位有望)

WIN54 東京 11R 馬単 3→10 3→14 10→1 3→2 3→7

数字は過去10年が対象 キャリア1戦(32323) 主役はダノンザキッド。夏の阪神最終日・芝千八の新馬戦の勝ち馬はその後重賞勝利。19年レッドベルジュール(GII)

芝1800 東京 1.44.5 55 ムア 19年11月16日 [今回推定タイム] 重1.46秒台 重1.48秒台

Table with columns for horse name, jockey, trainer, and various performance statistics for the 1800m race.

3連複 1310 3410 2310 3710 134 123 137 234 347

②3着馬も次走勝ち上がり。ドウラヴェルデは11秒5、秒8-11が3のレースを、3秒1の上から豪快に突き抜けた。瞬発力勝負には自信。タイトルホルダーは好ダッシュから逃げたが力大きく、それでも直線は跳びが大きい。力ためる競馬を見てみたい。ジュンブルースカイは秋S②

3連単 フォーマーション 1着 124 2着 710 3着 124 710 (20点)

18年ブレインダブリン(GIII) 同じ稍重だったDプレミアムの時計を単純比較で0秒4上回った。それも残り二百から持ったまま。素材はGI級。

ス展開 内 外 逃げ 好位 中団 後方 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

②が控える形も：なら、④が途中からでもハナに立ちそう。ベイスは遅く折り合い重視。横綱相撲で③だが、①⑩も抵抗

スローペース 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

①ドウラヴェルデ (好走可) 太田助手 初戦はかなり乗り

スローペース 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

も、現状ベターは平坦コース。キャリア4戦以上002222。経験値は組はやや劣勢の傾向。相手前に走るヴェロチエオロ、前走はまともに出遅れたモリノカンナチャンと、連下候補の扱い。

スローペース 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

も、現状ベターは平坦コース。キャリア4戦以上002222。経験値は組はやや劣勢の傾向。相手前に走るヴェロチエオロ、前走はまともに出遅れたモリノカンナチャンと、連下候補の扱い。

馬番連複オッズ 1 5 4 2 17.3 5 799 3 3.8 6 71.8 4 14.5 7 69.0 5 366 8 261 6 47.7 9 131 7 50.7 10 17.9 8 99.9 1 5 9 76.9 1 6 613 10 10.1 1 8 879 3 10.5 9 507 4 34.3 10 447 5 479 1 6 173 6 81.4 7 321 7 96.6 8 174 8 188 9 124 9 25.3 10 76.0 10 9.6 1 55.0 2 149 3 196 10 5 321 4 30.9 9 171 5 75.3 10 43.3 6 43.3 7 7.3 10 70.5

小本曾 大祐 デビュー戦はテンから頭を上げ折り合えず、末脚がなくなり、2戦目で一変したプラチナトレジャ。台風接近の不良馬場で馬込みを縫って追い込み、体力と爆発力の両方を見せつけました。敵しい競馬は大きな財産、素質だけではない強さを発揮します。

柏末 集保 完成度の高い馬ではないが、ダノンザキッドが最後は流して3馬身差で完勝した新馬1800mの3着馬も勝った。迫力あふれるストライドは東京コース向き。使って一変タイトルホルダー、勝負強い切れを持つドウラヴェルデが相手。

東京スポーツ杯2歳ステークス 過去5回の成績

1馬連平均5620円 多頭数が荒れた18年を除けば、馬連平均は840円。連対率 連対9頭は連対率十割。着外があると(0008)。新馬勝ち 連対7頭が新馬V。9頭は新馬戦で2人気があった。ジュンブルースカイ

